

国語科 2年

中学生は「日本のコロナ対策」をこう総括する！ 【討論】自分の考えと相手の考えを論じ合おう

担当 釘宮里枝

【活動の目標】

情報と情報の関係を重視した話し合い活動を通して、異なる立場や考えを想定しながら情報を集め、整理するとともに、互いの立場や考えを尊重しながら自分の考えをまとめていくことができる。

【 問 い 】

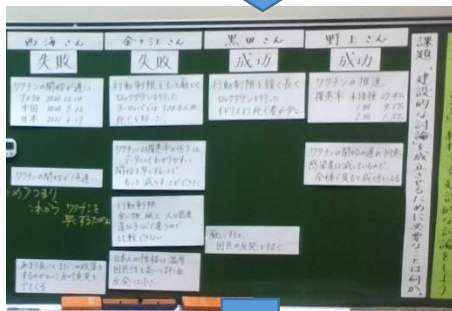
- ・「中学生は『日本のコロナ対策』をこう総括する！」という言語活動を設定する。
- ・「建設的な討論」を成立させるために必要なことは何かを代表者の討論を観察し考えさせる。

今回 ICT を活用した場面	従来 の 活動
A1 教員による教材提示 事前に代表者の討論を撮影し、授業内で動画として提示する。	各クラスの代表者が、クラスの前で実際に討論を行う。または、音声のみを録音し、授業内で再生する。

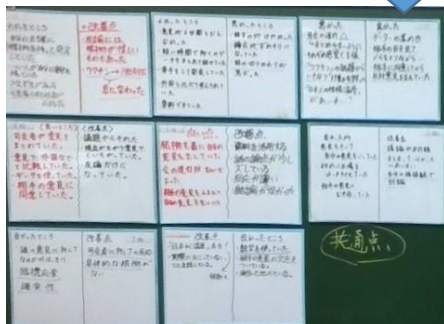
【資料】



文字起こししたもの（板書）



動画から見つけた
良いところ・改善点



【ICT 機器を活用する良さ】

○繰り返しやすい

授業の中で繰り返し視聴することはなかったが、担当が何度も事前に繰り返し視聴し、教材としてしっかり分析することができた。

また、動画を共有することで、生徒が復習などで繰り返し視聴できる環境をつくることができた。

○着目しやすい

内容とともに、態度面にも着目する生徒がいた。

※何よりも同級生が教材になっている点で、代表者も、そうではない生徒も意欲的に取り組んだ。

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・動画を視聴しながら、ワークシートにメモを取る活動を行った。しかし、メモを取ると、音声ばかりに気を取られている生徒も見られ、動画の良さが活かしきれなかった。

⇒今回は、建設的な討論にするための議論の方法に焦点化したいという授業者の思いから、メモを取る活動を行ったが、動画そのものの良さ（態度面に気づくことができる）を活かすためには、動画をどのように視聴させるのかを考える必要がある。